

## 障害者施設対象に特別査察 岐阜県- 西日本防災システム

1

2013 01 07

岐阜市消防本部と岐阜中・南・北消防署は7日、市内の障害者施設を対象に特別査察を始めました。昨年12月24日深夜に土岐市の知的障害者作業所で起きた火災※1を教訓に障害者施設の防火対策の徹底を指導する方針です。18日まで24施設で点検していくそうです。特別査察は職員延べ48人で実施されました。岐阜市日野東の宿泊型自立訓練施設では午後1時半から岐阜中消防署職員3人が査察に入り、消防法で設置を義務づけられている自動火災報知設備、火災通報装置、消火器、誘導灯の管理状況を確認しました。施設が自主的に設置する避難器具なども点検し、火災予防を指導しました。

この施設では精神障害者14人が宿泊し、20人が通所して就労訓練を受けています。運営する社会福祉法人の総合施設長は「火災はいつ起きるか分からないので、火事を出さないよう職員も含めて日ごろから注意していく」と話していました。

全国にこのような施設はたくさん点在していますので、どうか 火の用心と日頃の防火意識を高めて頂ければ と思います。

※1 次ページ参照



西日本防災システム  
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd  
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 

12月24日午後10時45分頃、土岐市泉町久尻のグループホーム「NPO法人アガペケアセンター土岐・めぐみのいえ」から出火しました。鉄筋コンクリート2階建て施設の2階部分約500㎡を焼失して、約2時間40分後に消えました。けが人等はありませんでした。

発表によりますと、施設には女性理事長と入所者3人が暮らしていて、出火当時は、理事長が1階で、入所者の男性(64)が2階の自室で、ともにテレビを見ていましたが、煙に気付いて早く逃げたため、無事でした。ほかの入所者2人は帰省していて不在でした。理事長が「2階が燃えている」と、119番しました。施設は知的障害者らが利用していて1階に文化活動スペース兼食堂があり、2階には居住部屋が7室あります。

出火原因等は現在調査中とのことです。



映像はインターネットより



西日本防災システム  
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

